

<平成 25 年度>

社会教育部の取り組み実績

社会教育課
文化財課
スポーツ振興課
中央図書館

■ 基本方針 ■

平成25年度は、社会教育における市民ニーズの把握に取り組み、各種事業や所管施設の運営に反映することにより各分野における市民満足度の向上を図ります。

これにより教育委員会の基本目標である「学びを支え心をつなぐ社会教育」、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」、「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービス」の達成をめざします。

実績

- ・社会教育における市民ニーズの把握に取り組み、各種事業や所管施設の運営に反映したことによって、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」分野において市民満足度の向上に努めた。

I 重点施策・事業

◆登録文化財制度創設事業

成立年代や性格等の理由により文化財指定にはなじまないが、地域に連綿と受け継がれ、地域の歴史にとって欠くことのできない文化財を登録する制度を創設します。平成25年度は登録文化財に関する要綱を制定し、登録文化財候補の調査を行います。



宗左の辻の道標

実績

- ・平成25年9月27日付で「枚方市登録文化財に関する要綱」を制定し、「宗左の辻の道標」他2件を平成26年4月1日付けで枚方市登録文化財に登録することを決定した。

◆特別史跡百済寺跡再整備事業

特別史跡百済寺跡の再整備に向けた発掘調査を継続して進めるとともに、平成 25 年度に基本計画・基本設計を完了させます。

実績

- ・最終年次調査として第9年次発掘調査を行い、発掘調査を完了するとともに、基本計画・基本設計を完了した。

◆社会教育主催事業

人が地域で生きていく上で必要な社会制度等に関する情報や知識等を学ぶ機会を提供するため、講座や講演会を開催します。

実績

- ・親を考えるセミナー（5月）、思春期セミナー（7月）、社会教育基礎講座（7月・2月）、父親の家庭教育参加促進事業（8月・3月）、親学習講座（9月・11月）、教育講演会（2月/P T Aと共催）を実施し、市民が家庭や地域で生活する上で必要な基礎的な知識・技術の提供に努めた。

◆トップアスリートとのふれあい事業

トップアスリートとふれあう機会をつくることで子どもたちの夢を育み、青少年のスポーツへの関心を高め、夢と魅力あふれるまちづくりに寄与します。平成 25 年度は水泳と女子サッカーのオリンピック選手を招聘し、教室を開催します。

実績

- ・ロンドンオリンピック銀メダリスト松田丈志選手を招いての水泳体験教室（8月）、ロンドンオリンピック銀メダリストの丸山桂里奈選手を招いてのサッカー体験教室（1月）を開催した。参加者のアンケートでは、ほぼ全員から満足の感想を得、好評であった。



トップアスリートとのふれあい事業

◆子ども読書活動推進事業

乳幼児・児童から中高生までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進します。また市立図書館と学校図書館との連携を推進します

実績

- ・乳幼児から小学生を対象にしたおはなし会（通年）の実施や、枚方出身の「絵本作家ミロコマチコさんと絵を描こう」（8月）「中学生の調べ学習コンクール」（12月）「こころをつたえよう！ひらかた朗読大会」（1月）等のほか、子ども夢基金活用事業「いのちのメッセージ～中高生の課外授業」（7月・8月・12月）を開催し、子どもたちが読書を楽しめる環境づくりを推進した。また、学校図書館への団体貸出や訪問おはなし会などを行い、学校との連携を進めることができた。

◆図書館サービス推進事業

図書や雑誌、電子情報などの幅広い情報の提供を行うとともに、読書会や講演会などの図書館文化事業を実施します。また市民の疑問等の解消に役立つレファレンスサービスの周知に努め、市民に利用を働きかけます。

実績

- ・市民の教養・読書ニーズに応え、幅広い資料の提供を行うとともに、成人対象の読書会や、図書館への来館のきっかけづくりとしての歌とおはなしの会、コンサートなどの各種行事を開催した。また、パスファインダー（情報の調べ方案内）を作成した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
19.市有財産等の有効活用 ④野外活動センター活用計画の策定	進入路整備を踏まえた野外活動センター活用計画の策定に取り組む

実績

- ・進入路の基本設計を行った。現状把握と施設の利用促進に向け、市内小学校を訪問し施設のPRとニーズを調査した。

改革課題	取り組み内容・目標
27.市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営体制一元化に向け検討を行う。

実績

- ・新施設予約システムを平成25年11月から稼動したことにより、スポーツ施設の使用申込期間等を統一した。

改革課題	取り組み内容・目標
28.生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	施設の役割を踏まえた今後の管理運営方針を策定する。

実績

- ・生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入の方向性を決定した。

改革課題	取り組み内容・目標
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	(公財)枚方体育協会に「経営プラン」の策定をはたらきかけ、(公財)枚方市文化財研究調査会については行政との役割分担等について見直しを行う。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)枚方体育協会が平成24年度に策定した「経営プラン」(経営計画2012)の内容について、検証を行った。 ・(公財)枚方市文化財研究調査会との役割分担等について、課題の抽出を行った。 	

改革課題	取り組み内容・目標
37.指定管理者制度の導入拡大	伊加賀スポーツセンターに指定管理者制度の導入を図る。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・伊加賀スポーツセンターに平成26年度から指定管理者制度を導入するため、公募による選定手続きを行った。 	

改革課題	取り組み内容・目標
44.施設の使用料の見直し ③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との事業統合などの方針を決定し、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・学校園施設開放に係る制度の運用状況について実態調査を行い、事業統合に向けた検討を進めた。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
社会教育主催事業	社会教育の役割を踏まえ生涯学習課との連携を強化し、効果的な事業を企画実施する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の役割を踏まえ、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術に係る、親学習講座など様々な事業を実施した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
古文書講座開催事業	受講料の徴収に向けた受講者アンケートを実施する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・受講料の徴収に向けた受講者アンケートを実施し、一部講座で受講料を徴収することを決定した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
図書館運営事業	市内全域サービスを基本とした中央図書館、分館、分室の各図書館施設と自動車文庫について、サービスにおける最適な役割分担や配置を検討する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の効果的な管理運営に向けた役割分担について、考え方の整理を行った。 	



歌と音楽のおはなし会 (中央図書館)

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市民対応における市民満足度の向上	市民等からの社会教育分野における専門的な問合せに対し、各分野において所属職員が同じレベルで対応できるよう知識や情報の共有化を図る。

実績

- ・専門的な問合せ内容とその回答について情報共有を行い、所属職員の力量のボトムアップを図った。

テーマ	取り組み内容・目標
省エネ意識の向上	普段から省エネを意識し、事業やイベントにおいても省エネ行動を励行する。

実績

- ・日常の事務執行において省エネ行動を徹底するだけでなく、イベント時においてもイベント開催間際まで点灯しない、資料等の作成時に適正数を見極め無駄な印刷を行わないなど、細部にわたり省エネ行動を励行した。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(6件 1350万円)

実績

- ・文化財保存事業に国庫補助金の活用を図った。(6件 1307万円)

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など専門的な業務を担う部内各分野の職員が知識や技術を積極的に習得し、業務に反映させることにより人材育成を図ります。また、質の

高い市民サービスを提供するため、各分野において、業務に係る職員研修を実施し、職員の資質向上をめざします。

実績

- ・現在まで培ってきた専門的な知識・技術の継承に向けて、経験豊富な職員が経験の浅い職員に対して指導を行うとともに、各分野の専門的な知識・技術の向上のため、各種研修を行った。

- ◆職員一人ひとりが普段から市民目線に立った事務改善を意識し、効果的・効率的な事務執行に努めます。

実績

- ・説明責任を意識した市民対応を行うとともに、業務の重要性・緊急性に応じた事務執行に努めた。

V 広報・情報発信

- ◆ホームページの充実

社会教育部関係の事業を効果的にPRするための工夫を検討実施します。また、開催結果などをタイムリーに伝えるためにホームページの更新作業を密に行います。

実績

- ・事業PRにおけるホームページ利用を徹底し、事業決定後の迅速な掲載とわかりやすい表示に努めた。

- ◆効果的な事業PR

広報やホームページだけでなく、関連事業や他の市主催事業など様々な場面で事業宣伝活動を行います。また、マスコミへの情報提供を積極的に行い、「教育文化都市ひらかた」を広く発信していきます。

実績

- ・市の広報媒体だけでなく、地域情報誌等マスコミへの情報提供を積極的に行い、事業PRに努めた。